

## 再びフィリピン☆☆☆

以前240誌にフィリピンパブについて拙文を出稿しましたが今回はその続編です。フィリピンは貧しい国です。政情は取りあえず安定していますが、汚職ワイロが横行し決して近在国家とは言い難いのです。その国から沢山の女性が日本へ来ています、現地では「ジャパユキ」と言ってフィリピン財政の一翼を担っているまでに成りました。と言っても、20歳前後の女の子が日本で従事出来る仕事は限定されます。その多くはサービス業であり、一部はアンダーグラウンドへも行っている様ですが、ほとんどはフィリピンパブ又はフィリピンスナックが多いのです(とりあえず若いのと結構可愛いから需要はある..)小生も「心の栄養」の一部として支援活動に参加することがありますが、これから参加したい方は次の点に注意なさってください。まず彼女達来日の第一目的は、お金を稼ぎに来ていること、決して貴方と結ばれようとか、愛しあいたいとかではありません。故郷では沢山の家族が首を長くして送金を待っているのです。(一家8人がそれのみで生活している。男は余り働かないそうです)彼女達は結構可愛い顔をしています、日本女性が忘れた素朴さを持っています。又懸命に尽くしてくれそうです、しかし反面強烈なしたたかさをも持っている事は確かです。1~2回位ではそう影響がありませんがそのうち下記の様なオペレーションが開始されます。往々にしてはまる人が居るようで、よく新聞紙上を飾る事件等もありました。そのオペレーション名とは..以下の通りです(某インターネットの寄稿を参照させて戴きました)

### 「ワランタオ ボンバー」

夕方お客に電話して、「アコキョウオキヤクサンイナナイ」・「タスケテアトデテンチョウオコラレル」と客の同情をかう言葉を発する技で、心優しい人にはかわし切れず、つい店へ行ってしまふ。店へ行って既に外の客が付いていた場合はその破壊力はすさまじい。

### 「カイビガン スプラッシュ」

店が始まって間も無い時間に電話で、「イマ イカウトモダチココニイルヨー オイデオー☆」と貴方の知合いや友達が店に居る事を通報します。お店で知人・友人が飲んでいることを知った貴方は「うらやましい」又は「心配」でそそくさと店に駆けつける次第です。

### 「グトムパンチ」

列え腹が空いていようがいまいが、「アコ オナカスイタ サッキゴハンタベナイ イッショタベタイヨ」可愛そうに思ってお店に駆けつけ食べ物(大体一品1000円~1500円)を注文しても全然食べない直後女の子がチェンジしたら、それはもう悲惨なもの

### 「NTT ソバット」

何度よんでもきて貰えない客にはわざと携帯電話をOFFにする。するといくらかけても繋がらないので心配に成って店へ来てしまう。さらにベテランともなると貴方の悪い点(パルパルしたとかしないとか)を探し出しわざとすねた様な電話をする。これに掛かったら店へ行って弁解するしか無いと言う技。

### 「ラシンハリケーン」

すでに店に居る客に、酒を注文して貰い、とにかく酔っ払う。酔っ払ったところで貴方へ電話して「アコヨッパラッテイル、イマオキヤクサンシッコイ サソウ・・・」勿論酔っ払って外へ行かれたら困るので、吹っ飛んで店へ駆けつけます。酒が飲めて客も来る、一石二鳥の大技だが時には飲みすぎて気持ち悪くなる場合がある(新人女性は酒は余り強くない)

### 「モーニング ディスとロイヤー」

貴方が店から帰った翌朝、貴方にモーニングコールをします。「アコ ユウベタノシカッタゲンキデネー」甘い言葉に貴方の心はメロメロ、完全に恋人気分で今晚も行っちゃうかな・・・朝電話で起こすだけで恋人気分になって貰える超コストパフォーマンスな技である。

「ピクチャーローリングサンダー」とにかく店で写真を撮って貰う。写真を撮って貰えば現像してから見せに来て貰える。「ミセキテクダサーイ」と呼ぶより「マエノシャシンミタイヨー」と言う方がはるかに言い易い。写真も貰えて客も来る一挙両得の技。又デジタルカメラの場合は家族に送るからと言ってプリントするようせがむ。「フォーエバークラッシュ」タレントは興業ピザで入国している為、最長6ヵ月で一端帰国しなければなりません。中には「一緒にフィリピンへ帰ろう」と言う客も居ます。兎に角その時は約束しておいて、帰る日を一日前に変更し約束の日には日本には居ない。ピザまで準備したのに、一度食らったら二度とは立ち上げれ無い必殺技。「ダブルバースディーイリュージョン」6ヵ月ごとに違った店で働く場合、年に2回は必ず誕生日があると言う不思議。何で年2回誕生日があるのかは、日本人では理解し難いフィリピンの黒魔術。筆者も調布と府中で遭遇しました。大人だから詰問しませんでしたでしたが2～3日間眠れなかったです。

### 「デビルシールド」

同伴出勤やアフター等に誘われ、危険と思った時には仲間の女の子を呼んで、「シンディーイッシュヨイデスカー」と言う。勿論シンディーは目の前に居る訳だから断れない、友達も一緒に食事でありつける巧妙な技。「タイムリミットバリアー」休みの日やアフタ

一等で店外で会うときに必ず帰る時間を予告する、理由は門限や掃除当番・友達病気で看病等々、いかなる攻撃にも耐えられる強力防御技。と言う訳で何やらズレイ娘ばかりの様ですが、本当は田舎出身の素朴な女の子ばかりです。でも見知らぬ日本、虎や狼がうろうろ徘徊している業界で「可愛い子羊ちゃん」が生き延びていくには、二重三重のバリアーとたくましく生きる術が絶対必要でしょう。又以上の事は形こそ違え、ウオータービジネスでは当たり前で、日本人スナックママのあこぎさはこれらの数倍と言えます(勿論、ウエストの太さと体重もそれに比例してますが)。フィリピンは貧しい国です。特別な産業もありません、以前記載しましたが、外貨獲得の大きな担い手である彼女達にエールを送りましょう。そうです、今貴方の手元に有るわずかなお金を痔って琢けつけるのです。仮に持ち合わせが無い方は、失礼ですが目の前にあるリグをオークションに掛ける手もあります。リグは無くなりますが、貴方の心は「心の栄養素」で満たされるでしょう。ここでちょっと興味有る話筆者の知人の妹が日本人との結婚を望んでいます。24歳でフィリピンの看護大学を卒業し現在は現地で看護師として働いていますが日本で働きたいそうです。その為には滞在資格を時たなくてはならず、形式上の結婚と成ります(法律上の結婚で実際には無い・勿論夫婦関係は無いと思った方が良いが「瓢箪から駒」の可能性も有る。写真では美人で頭脳明晰?)該当者は45歳位までで独身で健康・身元がしっかりしている事。又在日フィリピン人で本当の結婚を望んでいる方も居るそうです。